



## 特記仕様書

(総則)

第1条 本特記仕様書は、令和7年度 町単公下第1号 人孔底部工改造工事に適用する。

2 本特記仕様書は、下水道土木工事必携(案)(2021年版 公益社団法人日本下水道協会)及び、茨城県土木部・企業局土木工事共通仕様書(以下、「共通仕様書」という。)を補完する。

(工期)

第2条 工期は、雨天や休日等を見込み、契約日の翌日から令和8年2月28日までとする。なお、休日等には日曜日、祝日、年末年始休暇及び夏季休暇のほか、作業期間中の全土曜日を含んでいる。ただし、末日が閉庁日となる場合は、翌開庁日を末日とする。

(工事数量)

第3条 工事数量は、別紙「工事数量総括(内訳)表」のとおりとする。

(作業時間帯)

第4条 全工種の作業時間帯は、下表のとおりとすること。なお、作業時間帯の変更を要する場合には、速やかに監督員と協議すること。

工種	作業時間帯	期間
全工種	作業開始 8時30分 作業終了 17時00分	工期内

(建設資材)

第5条 使用する材料について、共通仕様書に定める条件を満たすものが、県産材で確保できる場合には、その優先使用に努めること。なお、県産材とは、「茨城県内で生産されたもの、または加工し製品化されたもの」をいう。

(排出ガス対策型建設機械の使用)

第6条 使用機械のうち、バックホウ及びモータグレーダーについては、排出ガス対策型の第2次基準値以上のものを使用すること。

2 排出ガス対策型機械の調達が困難な場合は、監督員と協議すること。なお、排出ガス対策型機械を使用しないこととなった場合、契約変更の対象となることがある。

(リサイクル建設資材の率先利用)

第7条 使用する資材は、リサイクル建設資材の率先利用を図るため「茨城県リサイクル建設資材率先利用指針」を遵守し、認定資材の利用に努める。

なお、本工事では次の認定資材を特段の理由がない限り使用するものとする。

また、設計で認定資材が指定されている場合で、その調達が困難な場合は、監督員に協議すること。

(1) 認定資材使用一覧

工種	リサイクル建設資材	規格
埋戻工、下層路盤工	再生砕石	RC-40
舗装工	アスファルト混合物	再生密粒度As

第8条 現場発生材のうち路盤材については、路体埋戻し材に再利用すること。ただし、再利用できないものについては、監督員と協議すること。

第9条 現場発生材のうち路盤材以外の発生土については、土質試験(土のコーン指数試験)を実施し、埋戻し材に再利用できるか検討すること。

(事前調査)

第10条 工事施工に際しては、予想される地下埋設物の管理者等と現地立会のうえ十分打合せをし、事故の発生を予防すること。

また、施工に伴う騒音・振動・地下水の変動等により近隣家屋等に影響を及ぼすおそれがある場合には、事前に監督職員と協議すること。

なお、工事に支障がある場合は施工方法、工程等について監督員と協議すること。

(公害対策)

第11条 本工事の施工にあたっては、次の事項を遵守するものとする。

(1) 本工事の施工については、通常の施工法によるものとするが、万一公害が生じたり、または生ずるおそれがある場合には、別途協議する。ただし、受注者の施工上の欠陥による場合はこの限りでない。

(2) 残土等の搬出による公道等の路面汚損防止の措置を講ずること。

(3) 運搬路等については、粉塵により公衆に迷惑を及ぼすことのないよう、防塵措置を実施すること。

(過積載の防止)

第12条 本工事の施工にあたっては、次の事項を遵守すること。

(1) 積載重量制限を超過して工事用資材等を積み込まず、また積み込ませないこと。

(2) 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。

(3) 資材等の過積載を防止するため、建設発生土の処理及び骨材の購入等にあたっては、下請事業者及び骨材等納入業者の利益を不当に害さないこと。

(4) さし柵装着車、物品積載装置の不正改造をしたダンプカー及び不正表示車等に土砂等を積み込まず、また積み込ませないこと。また、これらの車両を工事現場に出入りさせないこと。

(5) 過積載車両、さし柵装着車、不表示車等から土砂等の引き渡しを受ける等、過積載を助長するような行為をしないこと。

(6) 取引関係のダンプカー事業者が不正行為(過積載、さし柵装着車や不正表示車等の使用)を行っている場合には、早急に不正状態を解消する措置を講ずること。

(7) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」(以下「法」という。)の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。

(8) 下請事業者や資材納入業者には、交通安全に対する配慮に欠ける者やダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。

(任意仮設工)

第13条 本工事の管路土留工に関する仮設については、受注者の責任において決定し、施工すること。

2 受注者は、現地の状況を十分把握したうえで、本仮設工の安全性、経済性、細部構造等について十分検討すること。

(交通誘導員の配置)

第14条 工事の施工にあたっては、交通誘導員を配置し、一般交通等に支障のないよう十分注意して施工すること。なお、交通誘導員は警備業者の交通誘導業務に従事する警備員とする。

(発生土の処理)

第15条 本工事における発生土については、下記により搬出を行う。

- (1)搬出先：三角グラウンド下ストックヤード
- (2)土質：搬出先との協議により決定する。
- (3)土量：約8m<sup>3</sup>(地山換算土量)
- (4)運搬距離：積算片道運搬距離 4.9km以下
- (5)搬出条件：搬出先の指示による。
- (6)発生土の搬出手続き等は監督員の指示による。

(諸法等の遵守)

第16条 受注者は、共通仕様書1-1-1-34に基づき、諸法令を遵守し、特に次の事項に留意すること。

- (1)受注者は、高所作業における作業床、囲い、二段手すり、幅木、防網の設置、作業員の安全帯の使用、悪天候時の作業禁止、照度の保持、踏み抜きの防止、不用のたて杭等における危険の防止、昇降設備の設置、墜落危険箇所の立入禁止等により、墜落・転落災害の防止措置を講じること。
  - (2)受注者は、建設機械による作業に先立ち、当該建設機械の転落、地山の崩壊等による作業員の危険を防止するため、地形や地質の状況等を調査し、作業計画を定めてから作業を行うこと。また、作業中は、機械の制限速度、転落・接触等の防止、誘導者の合図、運転者が運転位置から離れるときの措置、機械の移送、搭乗・使用の制限、修理等について、関係法令を遵守すること。
  - (3)受注者は、地山の掘削作業に先立ち、地山の崩壊や埋設物の損壊等により危険を及ぼすおそれのあるときは、作業箇所及び周辺の地山について調査し、掘削の時期及び順序を定めて作業を行うこと。また、土砂崩壊災害の防止等のため、手掘り掘削における掘削面の勾配や土止め支保工、防護網の設置、作業員の立入禁止、埋設物等による危険の防止、掘削機械等の使用制限、誘導者の配置、保護帽の着用、照度の保持等について、関係法令を遵守すること。
  - (4)受注者は、建設機械の操作や玉掛け作業を、法令で定める免許を有する者、または技能講習や特別教育修了者に行わせること。
  - (5)受注者は、掘削面の高さが2m以上となる地山の掘削作業を行う場合、地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習を終了した者のうちから、地山の掘削作業主任者を選任しなければならない。
  - (6)受注者は、土止め支保工の切り梁、腹起こしの取り付け、取り外し作業を行う場合、地山の掘削及び土止め支保工作業主任者技能講習を修了した者のうちから、土止め支保工作業主任者を選任しなければならない。
- 2 受注者は、監督員より作業員の免許等の提示を求められたときは、協力すること。

(疑義)

第17条 本工事の施工及び設計図書等に疑義が生じた場合には、監督員と協議のうえ、その指示に従うこと。

## 現場代理人の兼務に関する特記仕様書

- 1 本工事は、現場代理人の兼務対象工事とする。
- 2 兼務の対象となる工事は、仕様書等で現場代理人が兼務することを認める旨の条件を付したものとす。
- 3 城里町発注工事のほか、工事の場所が城里町内であり、許可が得られたものであれば、他の公共団体等発注の工事であっても兼務することができる。
- 4 現場代理人の兼務は、予定価格が4,000万円（税込）未満の工事を2件までとする。ただし、同一現場内の工事に限り3件までとする。
- 5 現場代理人が工事を兼務するときは、あらかじめ「様式第1号（5条関係）現場代理人兼務届」により届け出なければならない。この場合において、受注者は、連絡員を指名のうえ届け出るものとする。ただし、同一現場内の工事については、連絡員の届け出を必要としない。
- 6 連絡員は、次の条件を満たすものでなければならない。
  - (1) 受注者と直接的な雇用関係のある者（当該工事に係る下請業者と直接的な雇用関係のある者を含む。）であること。
  - (2) 建設業許可における営業所ごとの専任技術者又は経営管理責任者でないこと。
  - (3) 他の工事の現場代理人、主任技術者及び連絡員でないこと。
- 7 兼務にあたって、現場代理人は、一方の現場に偏ること無く適切に現場を管理しなければならない。
- 8 作業期間中に現場代理人がほかの工事の兼務のために不在となる場合は、連絡員を当該現場に滞在させなければならない。
- 9 兼務に係る工事について、安全管理や工程管理等の施工管理体制に不備が生じた場合は、当該現場代理人の兼務は取り消され、常駐できる現場代理人を選定しなくてはならない。その後の当該受注者に係る城里町発注工事においては、新たな現場代理人の兼務を4か月間認めない。

様式第1号（第5条関係）

課長	課長補佐	係長	係

年 月 日
現場代理人兼務届
城里町長 様
受注者名

現場代理人	氏名	連絡先
-------	----	-----

上記工事の現場代理人は、下記工事の現場代理人を兼務します。  
 なお、兼務する双方の工事の施工にあたっては、関係法令等を遵守し、安全管理、工程管理等万全を期し、万一施工が不適切と判断されたときは、兼務の取消しをされてもいかなる異議を申しません。

1	現在契約している工事	工事名	
		工事場所	
		工期	年 月 日から 年 月 日まで
		請負金額	
		連絡員	氏名

2	□現在契約している工事 □新たに兼務をする工事	工事名	
		工事場所	
		工期	年 月 日から 年 月 日まで
		請負金額	
		連絡員	氏名

3	新たに兼務をする工事	工事名	
		工事場所	
		工期	年 月 日から 年 月 日まで
		請負金額	
		連絡員	氏名

- 連絡員は、建設業許可における営業所の専任技術者、経営管理責任者、又は他の工事の現場代理人、主任技術者及び連絡員ではありません。
- 同一現場内の工事のため、連絡員の届け出は行いません。

年 月 日
◎ 現場代理人を兼務することを承認します。
会社名
代表者名
様
城里町長
印

※ 添付書類：上記全ての工事に係る位置図、工程表及び連絡員の雇用関係を証明するもの。  
箇所については、該当する項目に☑をすること

# 工事数量総括（内訳）表

第 07-41-227-R-001 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	数量	単位	金額	細別内訳
管路(単独)			1	式		
管きよ工(開削)			1	式		
管路土工			1	式		管路掘削 15.000 m3 管路埋戻 9.000 m3 発生土仮置 15.000 m3 残土処理 8.000 m3
管基礎工			1	式		砂基礎 26.500 m
マンホール工			1	式		
組立マンホール工			1	式		組立 1 号マンホール 2.000 箇所 組立 3 号レジンマンホール 1.000 箇所
付帯工			1	式		
舗装版破碎工			1	式		舗装版破碎 240.000 m2
運搬処理工			1	式		殻運搬 10.000 m3 殻処分 10.000 m3
アスファルト舗装復旧工			1	式		表層(車道・路肩部) 239.000 m2 上層路盤(車道・路肩部) 16.000 m2 下層路盤(車道・路肩部) 16.000 m2
舗装復旧準備工			1	式		不陸整正 239.000 m2
区画線工			1	式		熔融式区画線 25.000 m
下水道分野共通			1	式		
仮設工			1	式		
水替工			1	式		ポンプ排水 1.000 日
交通管理工			1	式		交通誘導警備員 3.000 人日
直接工事費計			1	式		

# 工事数量総括（内訳）表

第 07-41-227-R-001 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	数量	単位	金額	細別内訳
共通仮設費（率計上）				式		
			1			
共通仮設費計				式		
			1			
純工事費				式		
			1			
現場管理費				式		
			1			
工事原価				式		
			1			
一般管理費等				式		
			1			
工事価格				式		
			1			
消費税相当額				式		
			1			
請負工事費				式		
			1			

別紙

## 参 考 資 料

この「資料」(本工事費内訳書、代価表、機労材集計リスト)は入札参加者の摘性かつ迅速な見積りに資するための資料であり、契約書第1条にいう設計図書ではない。従って「資料」は請負契約上の拘束力を生じるものではなく、受注者は、施工条件、地質条件等を十分考慮して、仮設、施工方法、安全対策等、工事目的物を完成するための一切の手段について受注者の責任において定めるものとする。

なお、この「資料」の有効期限は、この工事の入札日までとする。



# 本工事費内訳書

第 07-41-227-R-001 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
管路(単独)									
管きよ工(開削)									
管路土工									
管路掘削					15.000	m3			
機械掘削工(バックホ) バックホ規格(排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3))					15.000	m3			
管路埋戻					9.000	m3			
機械埋戻工(埋戻用砂)					2.000	m3			第0001号代価表
埋戻用砂					2.000	m3			第0002号代価表
機械埋戻工(発生土)					7.000	m3			第0003号代価表
発生土仮置					15.000	m3			
発生土運搬工(4t積級・2t積級)機械積込み ダンプトラック規格(ダンプトラック 4t積級), 運搬距離(実数入力)(0.5 km), DID区間(DID区間なし), バックホ規格(排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)), タイヤ損耗費(良好)					15.000	m3			
残土処理					8.000	m3			
積込(ルーズ) 土質(土砂), 作業内容(小規模(標準以外))					8.000	m3			施工P 第0004号代価表
土砂等運搬 土砂等発生現場(標準), 積込機種・規格(バックホ山積0.8m3(平積0.6m3)), 土質(土砂(岩塊・玉石混り土含む)), DID区間の有無(無し), 運搬距離(km)(DID区間無)(5.5km以下)					8.000	m3			施工P 第0005号代価表

# 本工事費内訳書

第 07-41-227-R-001 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数量	単位	単価	金額	摘要
路体(築堤)盛土 施工幅員(4.0m以上), 施工数量(20,000m3未満), 障害の有無(無し)	8.000	m3			施工P 第0006号代価表
管基礎工					
砂基礎	26.500	m			
砂基礎設置工(機械施工)(市場単価) 施工規模(10m3未満), 時間的制約を受ける場合の補正(無), 夜間作業補正(無)	1.000	m3			
埋戻用砂	1.000	m 3			第0002号代価表
マンホール工					
組立マンホール工					
組立1号マンホール	2.000	箇所			
底部工改造(1号, φ200, 標準)	2.000	箇所			第0007号代価表
構造物とりこわし 構造物区分(鉄筋構造物), 工法区分(人力施工), 時間的制約の有無(無し), 夜間作業の有無(無し)	1.000	m3			
殻運搬 殻発生作業(コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし), 積込工法区分(機械積込), DID区間の有無(無し), 運搬距離(km) (DID区間有無)(3.3km以下), 費用の内訳(全ての費用)	1.000	m3			施工P 第0008号代価表
コンクリート廃材処理費(中間処理施設) 道路用コンクリート製品(メッシュ筋) 60cm以下	1.000	t			
組立3号レジンマンホール	1.000	箇所			
削孔費(レジン製・3号) φ206まで	1.000	箇所			

# 本工事費内訳書

第 07-41-227-R-001 号

実施 起工 設計書

工事区分	工種	種別	細別	規格	数量	単位	単価	金額	摘要
付帯工									
舗装版破砕工									
舗装版破砕					240.000	m2			
舗装版破砕 舗装版種別(アスファルト舗装版), 障害等の有無(無し), 騒音振動対策(不要), 舗装版厚(15cm以下), 積込作業の有無(有り), 費用の内訳(全ての費用)					240.000	m2			施工P 第0009号代価表
運搬処理工									
殻運搬					10.000	m3			
殻運搬 殻発生作業(舗装版破砕), 積込工法区分(機械(騒音対策不要、厚15cm以下)), DID区間の有無(無し), 運搬距離(km)(DID区間無し)(3.5km以下), 費用の内訳(全ての費用)					10.000	m3			施工P 第0010号代価表
殻処分					10.000	m3			
アスファルト廃材処理費(中間処理施設) 掘削材 40cm以下					22.000	t			
アスファルト舗装復旧工									
表層(車道・路肩部)					239.000	m2			
表層(再生密粒度As(20), t=5cm) 平均幅員(3.0m超), 1層当平均仕上厚 70mm以下(50mm), 材料(再生密粒度アスコン(20)), 瀝青材料種類(プライムコート PK-3), 費用の内訳(全ての費用)					239.000	m2			施工P 第0011号代価表
上層路盤(車道・路肩部)					16.000	m2			

# 本 工 事 費 内 訳 書

第 07-41-227-R-001 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
上層路盤 (M-30, t=15cm) 材料(粒度調整碎石 M-30), 全仕上り厚 (実数入力) (150 mm), 施工区分 (1層施工), 費用の内訳 (全ての費用)	16.000	m2			施工 P 第0012号代価表
下層路盤 (車道・路肩部)	16.000	m2			
下層路盤 (RC-40, t=20cm) 全仕上り厚 (実数入力) (200 mm), 施工区分 (1層施工), 材料 (再生クラッシュラン RC-40), 費用の内訳 (全ての費用)	16.000	m2			施工 P 第0013号代価表
舗装復旧準備工					
不陸整正	239.000	m2			
不陸整正 補足材料の有無(無し), 費用の内訳 (全ての費用)	239.000	m2			施工 P 第0014号代価表
区画線工					
熔融式区画線	25.000	m			
区画線設置 夜間作業の有無(無し), 施工方法区分 (熔融式手動), 豪雪補正の有無(無し), 規格・仕様区分 (実線 15cm), 時間的制約の有無(無し), 塗布厚 (1.5mm), 排水性舗装に施工する場合の補正(無し), 未供用区間の場合の補正(無し), 熔融式塗料規格 (含有量15~18%), 塗料区分 (白), プライマー規格 (アスファルト舗装), 費用の内訳 (全ての費用)	25.000	m			
下水道分野共通					
仮設工					
水替工					
ポンプ排水	1.000	日			

# 本 工 事 費 内 訳 書

第 07-41-227-R-001 号

実施 起工 設計書

工事区分 工種 種別 細別 規格	数 量	単 位	単 価	金 額	摘 要
ホップ 運転工 排水方法・動力源(常時排水 商用電源),ホ ップ 台数 (実数入力) (2 台)		日			
ホップ 据付・撤去工	1.000	現場			
交通管理工					
交通誘導警備員	3.000	人日			
交通誘導警備員B	3.000	人日			
直接工事費計					
共通仮設費 (率計上)					
共通仮設費計					
純工事費					
現場管理費					
工事原価					
一般管理費等					
工事価格					
消費税相当額					
請負工事費					

第 0001 号 代価表 機械埋戻工(埋戻用砂)

第 07-41-227-R-001号

100.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
機械投入埋戻工(バックホ) バックホ規格(排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)),タン パ締固め数量(m3)(実数)(100 m3/100m3)	100.000	m3			
諸雑費(まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称

入力値

入力名称



第 0003 号 代価表 機械埋戻工(発生土)

第 07-41-227-R-001号

100.000 m3 当り

名称	数量	単位	単価	金額	摘要
機械投入埋戻工(バックホ) バックホ規格(排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)),タン パ締固め数量(m3)(実数)(100 m3/100m3)	100.000	m3			
諸雑費(まるめ)	1.000	式			
合計					
			単位当り		

条件名称

入力値

入力名称

第 0004 号 代価表 積込(ルース)

施工P(機20.13%, 労71.97%, 材7.90%, 市0.00%)

第07-41-227-R-001号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
小型バックホウ(クローラ) [標準] 排出ガス対策型(第2次基準) 山積0.13m3	20.130	%			K1
運転手(特殊)	71.970	%			R1
軽油	7.900	%			Z1
			(標準単価 積算単価)		)

条件名称	入力値	入力名称
J01 土質	1	土砂
J02 作業内容	5	小規模(標準以外)

第 0005 号 代価表 土砂等運搬

施工P(機44.67%, 労40.44%, 材14.89%, 市0.00%)

第07-41-227-R-001号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t積級	44.670	%			K1
運転手 (一般)	40.440	%			R1
軽油	14.890	%			Z1
			(標準単価 積算単価)		)

条件名称	入力値	入力名称
J01 土砂等発生現場	1	標準
J02 積込機種・規格	1	バックホウ山積0.8m3 (平積0.6m3)
J03 土質	1	土砂 (岩塊・玉石混り土含む)
J04 DID区間の有無	1	無し
J05 運搬距離 (km) (DID区間無)	8	5.5km以下

第 0006 号 代価表 路体(築堤)盛土

施工P(機17.31%, 労67.71%, 材14.98%, 市0.00%)

第07-41-227-R-001号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ブルドーザ [湿地] 7 t級	10.870	%			K1
振動ローラ (土工用) [フラット・シングルドラム型] 運転質量11~12 t	6.440	%			K2
運転手 (特殊)	46.570	%			R1
普通作業員	21.140	%			R2
軽油	14.980	%			Z1
			(標準単価 積算単価		)

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 施工幅員	3	4.0m以上
J 0 2 施工数量	1	20,000m3未満
J 0 3 障害の有無	1	無し



第 0008 号 代価表 殻運搬

施工P(機40.77%, 労44.82%, 材14.41%, 市0.00%)

第07-41-227-R-001号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t積級	40.770	%			K1
運転手 (一般)	44.820	%			R1
軽油	14.410	%			Z1
			(標準単価 積算単価	)	

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 殻発生作業	2	コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし
J 0 2 積込工法区分	1	機械積込
J 0 3 DID区間の有無	1	無し
J 0 4 運搬距離 (km) (DID区間有無)	2	3.3km以下
J 1 3 費用の内訳	1	全ての費用

第 0009 号 代価表 舗装版破碎

施工P(機12.85%, 労81.24%, 材5.91%, 市0.00%)

第07-41-227-R-001号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
バックホウ（クローラ型）〔後方超小旋回型〕 山積0.45m <sup>3</sup> （平積0.35m <sup>3</sup> ）	12.850	%			K1
土木一般世話役	29.540	%			R1
運転手（特殊）	27.520	%			R2
普通作業員	24.180	%			R3
軽油	5.910	%			Z1
			(標準単価 積算単価		)

条件名称	入力値	入力名称
J01 舗装版種別	1	アスファルト舗装版
J02 障害等の有無	1	無し
J03 騒音振動対策	1	不要
J04 舗装版厚	1	15cm以下
J06 積込作業の有無	1	有り
J07 費用の内訳	1	全ての費用

第 0010 号 代価表 殻運搬

施工P(機44.05%, 労39.87%, 材16.08%, 市0.00%)

第 07-41-227-R-001号

1.000 m3 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
ダンプトラック [オンロード・ディーゼル] 10t積級	44.050	%			K1
運転手 (一般)	39.870	%			R1
軽油	16.080	%			Z1
			(標準単価 積算単価	)	

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 殻発生作業	3	舗装版破碎
J 0 2 積込工法区分	3	機械 (騒音対策不要、厚15cm以下)
J 0 3 DID区間の有無	1	無し
J 0 7 運搬距離 (km) (DID区間無)	3	3.5km以下
J 1 3 費用の内訳	1	全ての費用

第 0011 号 代価表 表層(車道・路肩部)

施工P(機1.38%, 労10.17%, 材88.45%, 市0.00%)

第07-41-227-R-001号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
アスファルトフィニッシャ [ホイール型] 舗装幅2.3~6.0m	0.880	%			K1
タイヤローラ [普通型] 運転質量13~14t	0.140	%			K2
ロードローラ [マカダム] 運転質量10~12t	0.130	%			K3
普通作業員	3.660	%			R1
運転手 (特殊)	2.060	%			R2
特殊作業員	2.030	%			R3
土木一般世話役	0.730	%			R4
再生アスファルト混合物 再生密粒度アスコン (20)	80.700	%			Z1
アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	7.170	%			Z2
軽油	0.490	%			Z3
			(標準単価 積算単価	)	
条件名称	入力値	入力名称			
J01 平均幅員	4	3.0m超			
J04 1層当平均仕上厚 70mm以下	50	50 mm			
J05 材料	10	再生密粒度アスコン (20)			
J06 瀝青材料種類	2	プライムコート PK-3			
J07 費用の内訳	1	全ての費用			

第 0012 号 代価表 上層路盤(車道・路肩部)

施工P(機11.57%, 労37.08%, 材51.35%, 市0.00%)

第 07-41-227-R-001号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
モータグレーダ [土工用] 排出ガス対策 (2014年規制) ブレード幅3.1m	7.990	%			K1
ロードローラ [マカダム] 運転質量10~12t	1.000	%			K2
タイヤローラ [普通型] 運転質量13~14t	0.990	%			K3
運転手 (特殊)	16.310	%			R1
普通作業員	5.970	%			R2
特殊作業員	5.320	%			R3
土木一般世話役	4.370	%			R4
粒度調整砕石 M-30	47.840	%			Z1
軽油	3.030	%			Z2
			(標準単価 積算単価	)	

条件名称	入力値	入力名称
J01 材料	10	粒度調整砕石 M-30
J06 全仕上り厚 (実数入力)	150	150 mm
J07 施工区分	1	1層施工
J09 費用の内訳	1	全ての費用

第 0013 号 代価表 下層路盤(車道・路肩部)

施工P(機5.72%, 労18.33%, 材75.95%, 市0.00%)

第 07-41-227-R-001号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
モータグレーダ [土工用] 排出ガス対策 (2014年規制) ブレード幅 3.1 m	3.950	%			K1
ロードローラ [マカダム] 運転質量 10~12 t	0.490	%			K2
タイヤローラ [普通型] 運転質量 13~14 t	0.490	%			K3
運転手 (特殊)	8.060	%			R1
普通作業員	2.950	%			R2
特殊作業員	2.630	%			R3
土木一般世話役	2.160	%			R4
再生クラッシャーラン RC-40	74.210	%			Z1
軽油	1.500	%			Z2
			(標準単価 積算単価	)	

条件名称	入力値	入力名称
J 0 1 全仕上り厚 (実数入力)	200	200 mm
J 0 2 施工区分	1	1層施工
J 0 3 材料	6	再生クラッシャーラン RC-40
J 0 4 費用の内訳	1	全ての費用

第 0014 号 代価表 不陸整正

施工P(機21.58%, 労71.86%, 材6.56%, 市0.00%)

第07-41-227-R-001号

1.000 m2 当り

名称	構成比	単位	東京単価	地区単価	摘要
モータグレーダ [土工用] 排出ガス対策 (2014年規制) ブレード幅3.1m	17.280	%			K1
ロードローラ [マカダム] 運転質量10~12t	2.160	%			K2
タイヤローラ [普通型] 運転質量13~14t	2.140	%			K3
運転手 (特殊)	35.310	%			R1
普通作業員	14.550	%			R2
特殊作業員	11.350	%			R3
土木一般世話役	10.650	%			R4
軽油	6.560	%			Z1
			(標準単価 積算単価	)	

条件名称	入力値	入力名称
J01 補足材料の有無	1	無し
J04 費用の内訳	1	全ての費用

# 単価登録一覧表

第 07-41-227-R-001 号

実施 起工 設計書

単価コード	名 称 / 規 格	単 位	単価	摘 要
TJ000010	削孔費(レジン製・3号) φ206まで	箇所		労務 20250901

# 施工単価一覧表

第 07-41-227-R-001 号

実施 起工 設計書

単価コード	名 称 / 形 状	単 位	単価	摘 要
DGD10030	機械掘削工(バックホウ) バックホウ規格(排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3))	m3		
DGD10130	機械投入埋戻工(バックホウ) バックホウ規格(排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)),タンバ締固め数量(m3)(実数)(100 m3/100m3)	m3		
DGD10160	発生土運搬工(4t積級・2t積級)機械積込み タンブトラック規格(タンブトラック 4t積級),運搬距離(実数入力)(0.5 km),DID区間(DID区間なし),バックホウ規格(排対(2次)山積0.28m3(平0.2m3)),タイ損耗費(良好)	m3		
DGD10670	ポンプ 運転工 排水方法・動力源(常時排水 商用電源),ポンプ 台数(実数入力)(2 台)	日		
DGD10680	ポンプ 据付・撤去工	現場		
DGD60040	砂基礎設置工(機械施工)(市場単価) 施工規模(10m3未満),時間的制約を受ける場合の補正(無),夜間作業補正(無)	m3		
WB010212	交通誘導警備員B	人日		
WB821210	区画線設置 夜間作業の有無(無し),施工方法区分(熔融式手動),豪雪補正の有無(無し),規格・仕様区分(実線 15cm),時間的制約の有無(無し),塗布厚(1.5mm),排水性舗装に施工する場合の補正(無し),未供用区間の場合の補正(無し),熔融式塗料規格(含有量15~18%),塗料区分(白),プライマー規格(アスファルト舗装),費用の内訳(全ての費用)	m		
WB824010	構造物とりこわし 構造物区分(鉄筋構造物),工法区分(人力施工),時間的制約の有無(無し),夜間作業の有無(無し)	m3		

# 施工パッケージ単価一覧表

第 07-41-227-R-001 号

実施 起工 設計書

単価コード	名 称 / 形 状	単 位	単 価	摘 要
CB210020	積込(ルーズ) 土質(土砂),作業内容(小規模(標準以外)) [軽油]	m3		代価表 第0004号
CB210110	土砂等運搬 土砂等発生現場(標準),積込機種・規格(バックホウ積0.8m3(平積0.6m3)), 土質(土砂(岩塊・玉石混り土含む)),DID区間の有無(無し),運搬距離(km) (DID区間無)(5.5km以下) [軽油]	m3		代価表 第0005号
CB210510	路体(築堤)盛土 施工幅員(4.0m以上),施工数量(20,000m3未満),障害の有無(無し) [軽油]	m3		代価表 第0006号
CB227010	殻運搬 殻発生作業(コンクリート(鉄筋)構造物とりこわし),積込工法区分(機械積込), DID区間の有無(無し),運搬距離(km)(DID区間有無)(3.3km以下),費用の内訳(全ての費用) [軽油]	m3		代価表 第0008号
CB227010	殻運搬 殻発生作業(舗装版破碎),積込工法区分(機械(騒音対策不要,厚15cm以下)), DID区間の有無(無し),運搬距離(km)(DID区間無)(3.5km以下),費用の内訳(全ての費用) [軽油]	m3		代価表 第0010号
CB240010	コンクリート 構造物種別(無筋・鉄筋構造物),打設工法(バックホウ(クレーン機能付)打設),コン クリート規格(18-8-25(高炉)),養生工の種類(養生無し),費用の内訳(全ての費用)	m3		
CB410010	不陸整正 補足材料の有無(無し),費用の内訳(全ての費用) [軽油]	m2		代価表 第0014号
CB410030	下層路盤(車道・路肩部) 全仕上り厚(実数入力)(200mm),施工区分(1層施工),材料(再生クラッシュラン RC-40),費用の内訳(全ての費用) [再生クラッシュラン(RC-40)],[軽油]	m2		代価表 第0013号
CB410040	上層路盤(車道・路肩部) 材料(粒度調整砕石 M-30),全仕上り厚(実数入力)(150mm),施工区分(1 層施工),費用の内訳(全ての費用) [粒度調整砕石(M-30)],[軽油]	m2		代価表 第0012号
CB410260	表層(車道・路肩部) 平均幅員(3.0m超),1層当平均仕上厚 70mm以下(50mm),材料(再生密粒度 アスコン(20)),瀝青材料種類(プライムコート PK-3),費用の内訳(全ての費用) [再生アスファルト混合物(再生密粒度アスコン(20))],[アスファルト 乳剤(PK-3 プライムコート用)],[軽油]	m2		代価表 第0011号

# 施 工 パ ッ ケ ー ジ 単 価 一 覧 表

第 07-41-227-R-001 号

実施 起工 設計書

単価コード	名 称 / 形 状	単 位	単 価	摘 要
CB430310	舗装版破碎 舗装版種別(アスファルト舗装版), 障害等の有無(無し), 騒音振動対策(不要), 舗装版厚(15cm以下), 積込作業の有無(有り), 費用の内訳(全ての費用) [軽油]	m2		代価表 第0009号

# 登録代価一覧表

第 07-41-227-R-001 号

実施 起工 設計書

単価コード	名 称 / 形 状	単 位	単価	摘 要
SJ000010	機械埋戻工(埋戻用砂)	m <sup>3</sup>		20250901
SJ000020	埋戻用砂	m <sup>3</sup>		20250901
SJ000030	機械埋戻工(発生土)	m <sup>3</sup>		20250901
SJ000040	底部工改造(1号, φ200, 標準)	箇所		20250901
SJ000050	モルタル上塗り(マンホール用)	m <sup>2</sup>		20250901

# 機 労 材 集 計 リ ス ト ( 材 料 ) [ 積 上 分 ]

第 07-41-227-R-001 号

実施 起工 設計書

単価コード	名 称 / 規 格	数 量	単 位	金 額	摘 要
Q001036001	区画線設置 (溶融式) 昼間 豪雪無 実線15cm 制約無	25.000	m		20250901
Q001611008	鉄筋構造物 昼間 人力施工 制約無	1.000	m3		20250901
Q2G1030020	砂基礎工(手間のみ) 砂基礎設置 機械施工	1.000	m3		20250901
Z002150002	砂 埋め戻し用	3.990	m3		20250901
Z004350001	トラフィックペイント 溶融型 3種1号 ビーズ15~18 白	14.250	kg		20250901
Z004352001	ガラスビーズ 0.106~0.850mm	0.625	kg		20250901
Z004354001	接着用プライマー 区画線用	0.625	kg		20250901
Z006702002	軽油	26.857	L		20250901
Z010020045	タイヤ損耗費 4t積級 良好 供用日	0.483	供用日		20250901
Z101000050	コンクリート廃材処理費(中間処理施設) 道路用コンクリート製品(メッシュ筋) 60cm以下	1.000	t		20250901
Z101001100	アスファルト廃材処理費(中間処理施設) 掘削材 40cm以下	22.000	t		20250901

# 機 労 材 集 計 リ ス ト ( 材 料 ) [ 施 工 P 分 ]

第 07-41-227-R-001 号

実施 起工 設計書

単価コード	名 称 / 規 格	数 量	単 位	金 額	摘 要
Z002002006	セメント (普通ポルトランド) 25kg 袋入	0.016	t		20250901
Z002012001	生コンクリート 18-8-25 (20) 高炉	0.338	m3		20250901
Z002104002	コンクリート用骨材 砂 洗い 細目	0.031	m3		20250901
Z002122003	再生クラッシャーラン RC-40	4.065	m3		20250901
Z002124002	粒度調整砕石 M-30	3.048	m3		20250901
Z004101003	再生アスファルト混合物 再生密粒度アスコン (20)	30.070	t		20250901
Z004130002	アスファルト乳剤 PK-3 プライムコート用	299.288	L		20250901
Z006702002	軽油	109.083	L		20250901
Z006704001	ガソリン レギュラー	1.578	L		20250901

# 処分費集計リスト [積上分]

第 07-41-227-R-001 号

実施 起工 設計書

単価コード	名 称 / 規 格	数 量	単 位	金 額	摘 要
Z101000050	コンクリート廃材処理費(中間処理施設) 道路用コンクリート製品(メッシュ筋) 60cm以下	1.000	t		20250901
Z101001100	アスファルト廃材処理費(中間処理施設) 掘削材 40cm以下	22.000	t		20250901

--	--	--	--	--	--

令和7年度 町単公下第1号 人孔底部工改造工事  
(城里町石塚地内)

数量計算書

東茨城郡城里町上下水道課

数量計算総括表

No. 1

工事区分	工種	種別	細別	規格	単位	数量		適用
						計算値	設計値	
管路								
	管きょ工 (開削)							
		管路土工						
			掘削工					
				機械掘削工 バックホウ(山積0.28m3)	m3	15.42	15.00	
			埋戻工					
				機械埋戻工(埋戻用砂) バックホウ(平積0.20m3)	m3	1.79	2.00	
				機械埋戻工(発生土) バックホウ(山積0.28m3)	m3	6.60	7.00	
			発生土仮置工					
				仮置き土運搬(DT4t積) BH0.28積込,L=0.5km	m3	15.42	15.00	
			残土処理工					
				積込(ルース) 土砂,小規模(標準以外)	m3	8.09	8.00	
				残土運搬(DT4t積) BH0.28積込	m3	8.09	8.00	
				築堤盛土	m3	8.09	8.00	
		管基礎工						
			砂基礎工					
				機械施工(埋戻用砂)	m3	0.80	1.00	L=26.50m
	マンホール工							
		組立マンホール工						
			組立1号マンホール					
				底部工改造 1号用,φ200,標準	箇所	2.00	2.0	
				構造物とりこわし 鉄筋構造物,人力施工	m3	0.32	1.0	騒音・振動対策不要
				殻運搬 コンクリート(鉄筋),L=3.3km以下	m3	0.32	1.0	
				Co廃材処理費(中間処理) コンクリート塊(鉄筋),t=30cm以下	t	0.74	1.0	
			組立3号レジマンホール					
				削孔工 φ206まで	箇所	1.00	1.0	
	付帯工							
		舗装版破砕工						
			舗装版破砕					
				As舗装版直接掘削積込 バックホウ(平積0.45m3)	m2	239.43	240	

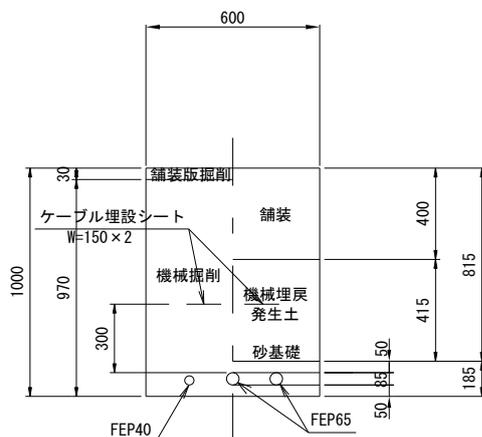




## 管路土工 計算書

項 目	算 出 基 礎	数 量
土 工	機械掘削工	
	$0.60 \times (1.000 - 0.03) \times 26.5 = 15.42$	
	計 15.42	15.42m <sup>3</sup>
	機械埋戻工 (埋戻用砂)	
	$0.600 \times 0.135 \times 26.5 = 2.15$	
	$-\pi/4 \times 0.054 \times 0.054 \times 26.5 \times 1 = -0.06$	
	$-\pi/4 \times 0.085 \times 0.085 \times 26.5 \times 2 = -0.30$	
	計 1.79	1.79m <sup>3</sup>
	機械埋戻工 (発生土)	
	$0.600 \times 0.415 \times 26.5 = 6.60$	
	計 6.60	6.60m <sup>3</sup>
	砂基礎工	
	$0.600 \times 0.050 \times 26.5 = 0.80$	0.80m <sup>3</sup>
	残土処理工	
	$15.42 - 6.60 / 0.9 = 8.09$	8.09m <sup>3</sup>

復旧図(舗装部)

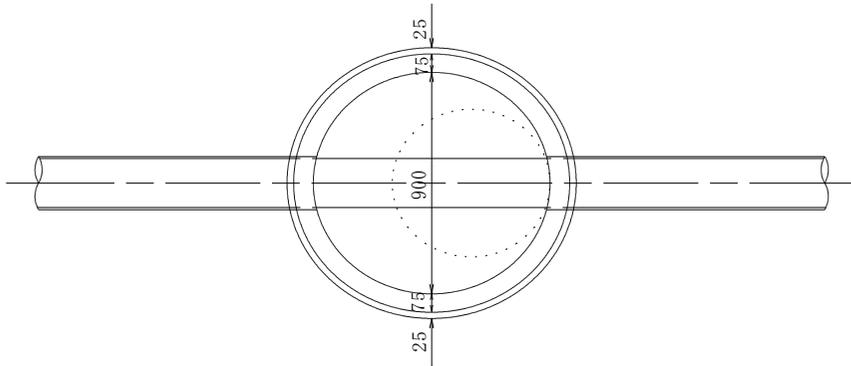






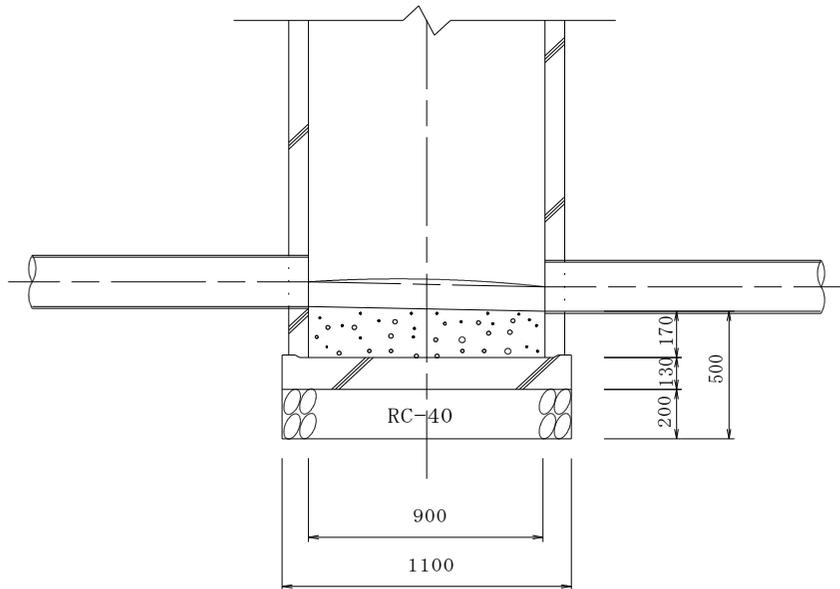
1号マンホール底部工 数量計算書

(VU200)



・インバート  
コンクリート

$$\pi \times 0.90^2 / 4 \times 0.270 - \pi \times 0.20^2 / 4 \times 0.90 \times 1/2 = \underline{\underline{0.158\text{m}^3}}$$



・モルタル上塗り工

$$\pi \times 0.90^2 / 4 - 0.20 \times 0.90 + 0.20 \times \pi \times 0.90 \times 1/2 = \underline{\underline{0.739\text{m}^2}}$$

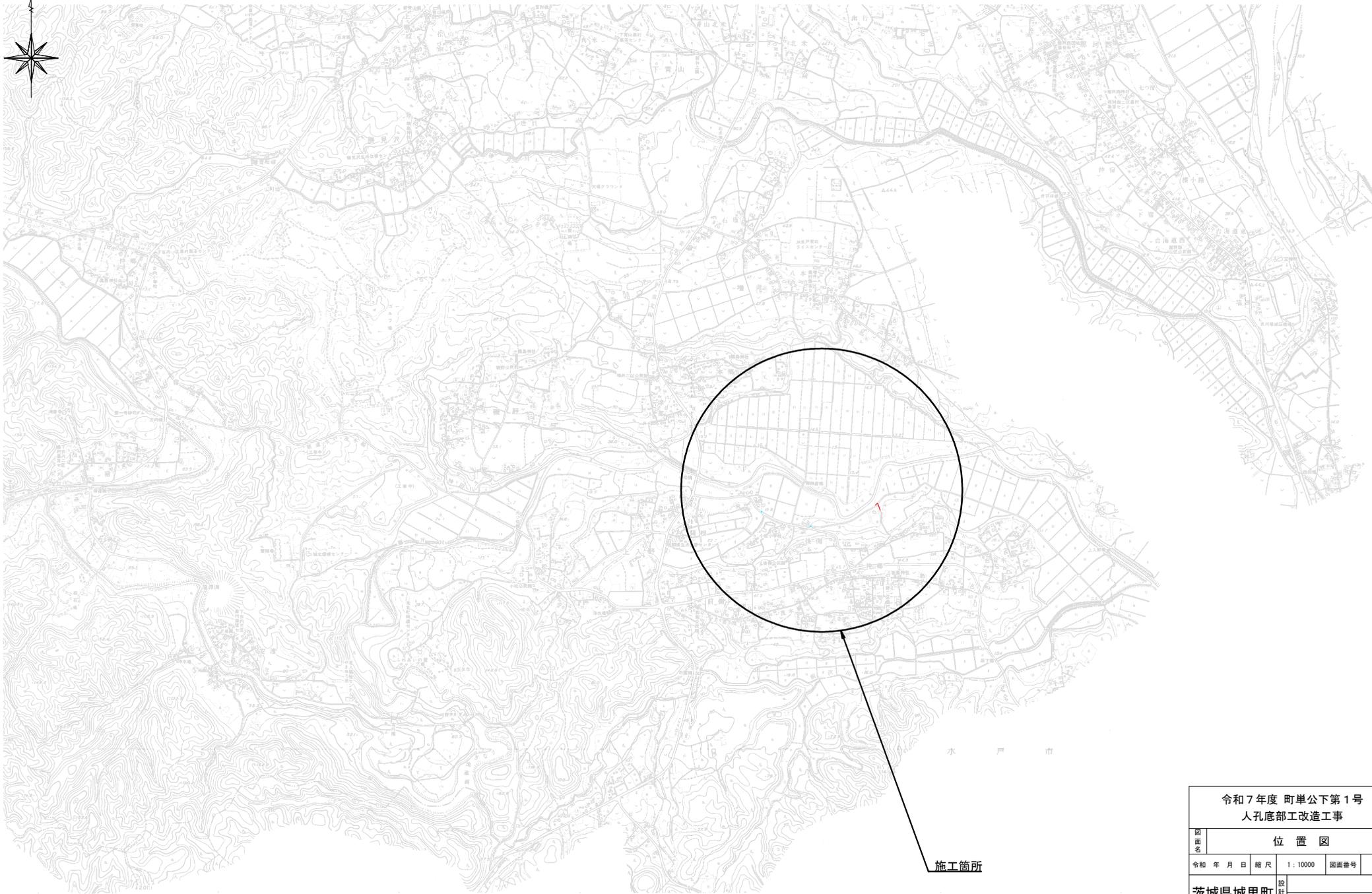
組立3号マンホール(レジン製) 集計表

組立3号マンホール(レジン製) 集計表					
種 別	数 量	備 考	種 別	数 量	備 考
マンホール設置箇所数	箇所		中間異型壁 300×800	個	
平均マンホール深		m/箇所	イン バー ト	起点 300×370	個
1.0m以下	箇所			曲点 300×370	個
1.5m以下	箇所			削孔 300×370	個
2.0m以下	箇所			底版 560×70	個
2.5m以下	箇所		ア ダ プ タ セ ツ ト	φ200 IN	箇所
鉄 蓋	T-25	1組		φ200 OUT	箇所
	T-14	組	底部工	箇所	
調 整 金 具	150mm	組	削孔工(φ206まで)	1箇所	
	250mm	組			
調整リング	50	個			
上部壁	300×200	個			
中 間 壁	300×100	個			
	300×150	個			
	300×300	個			
	300×400	個			
	300×500	個			
	300×600	個			
	300×900	個			
高 所 流 入 壁	300×300 (φ150)	個			
	300×350 (φ200)	個			





位置図 S=1:10000



施工箇所

令和7年度 町単公下第1号 人孔底部工改造工事			
位置図			
図面名	令和 年月 日	縮尺	1:10000
		図面番号	1/5
茨城県城里町	設計者		

系統図 S=1:2000



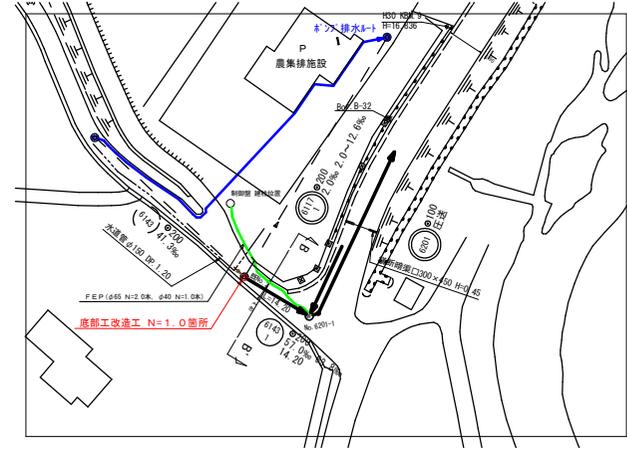
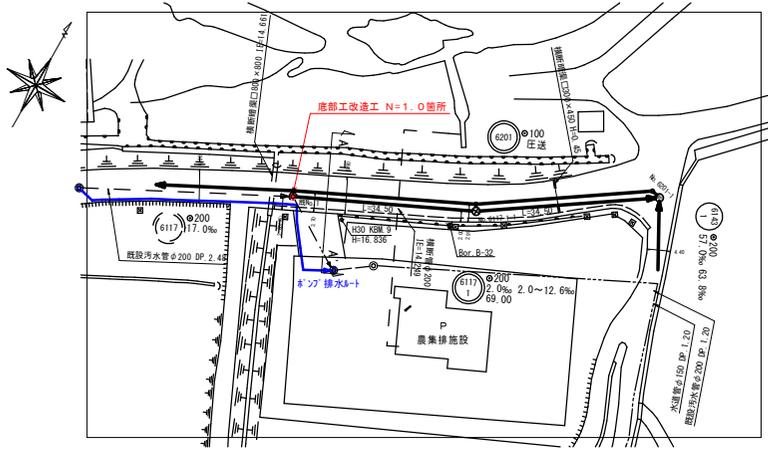
凡例

	設計路線
	既設路線
	1号人孔
	既設1号人孔
	小型マンホール(レジン製)
	マンホールポンプ
	既設マンホールポンプ
	曲管
	フランジ
	空気弁
	宅地汚水樹・取付管
	既設宅地汚水樹・取付管
	水道
	排水管
	NTT
	横断管又は横断暗渠

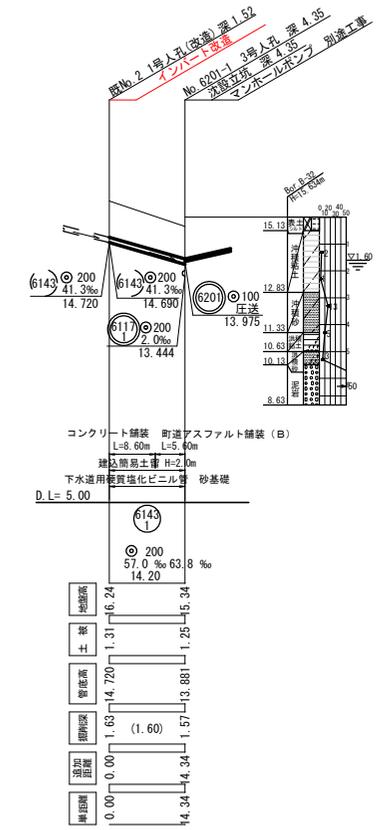
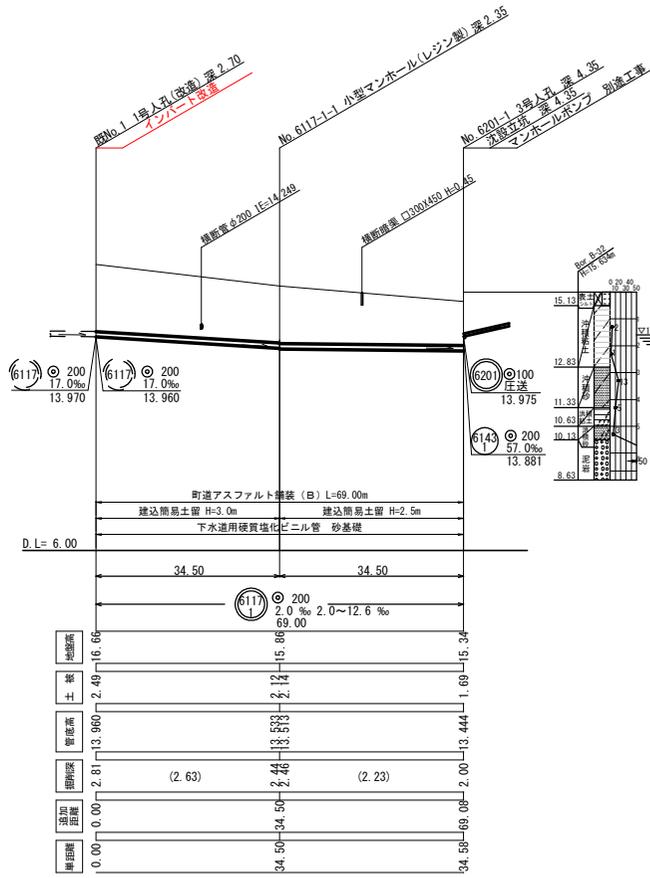
令和7年度 町単公下第1号 人孔底部工改造工事			
系統図			
図面名			
令和 年月日	縮尺	1:2000	図面番号 2/5
茨城県城里町	設計者		

平面図 縮尺 1:500

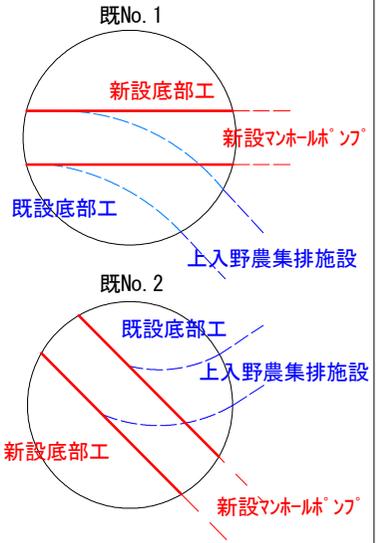
城里町上入野



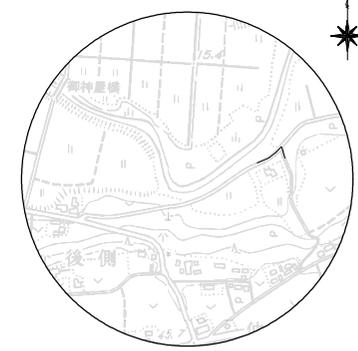
縦断図 縮尺 縦横 1:100 1:500



底部工



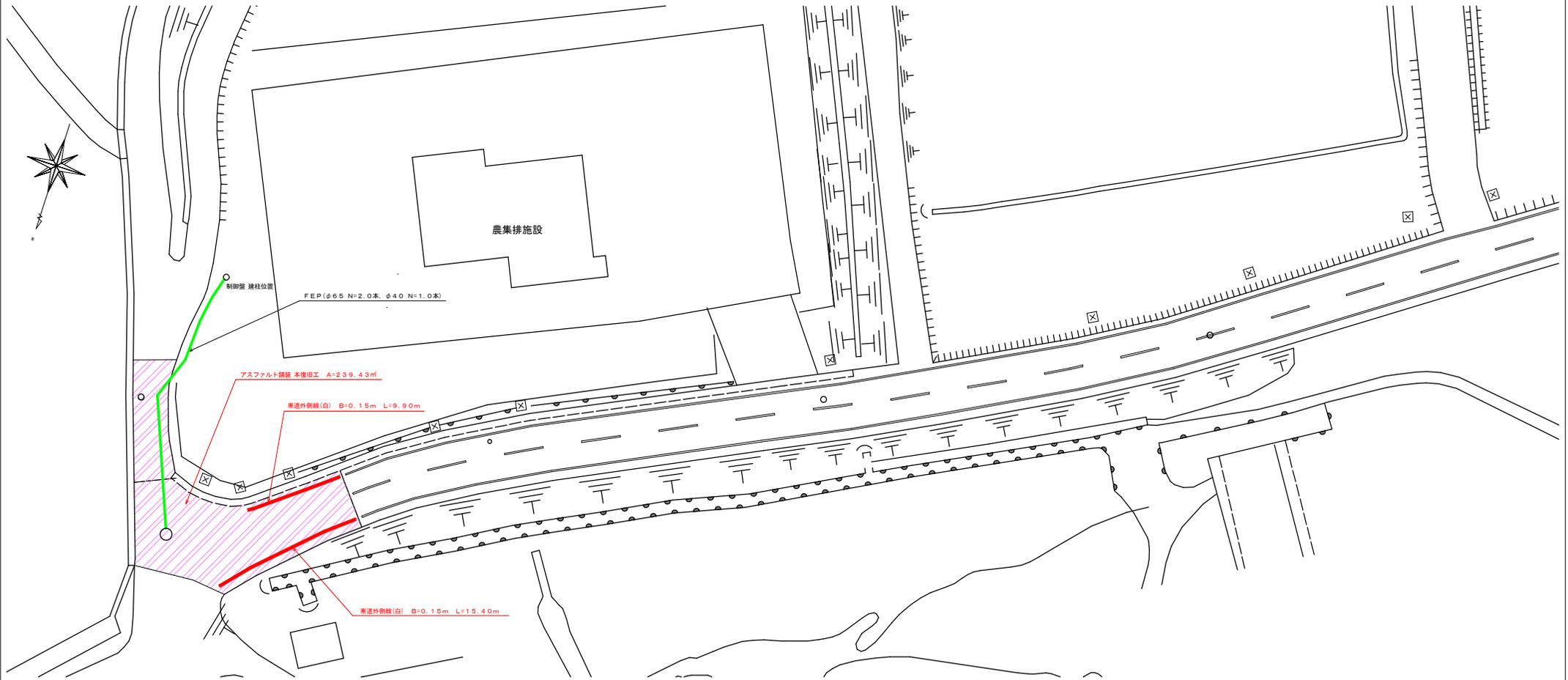
位置図 縮尺 1:5000



令和7年度 町単公下第1号 人孔底部工改造工事			
平縦断面図			
図面名	図示	図面番号	3/5
令和 年月 日	縮尺	設計者	
茨城県城里町			

付帯工平面図 S=1:200

城里町上入野



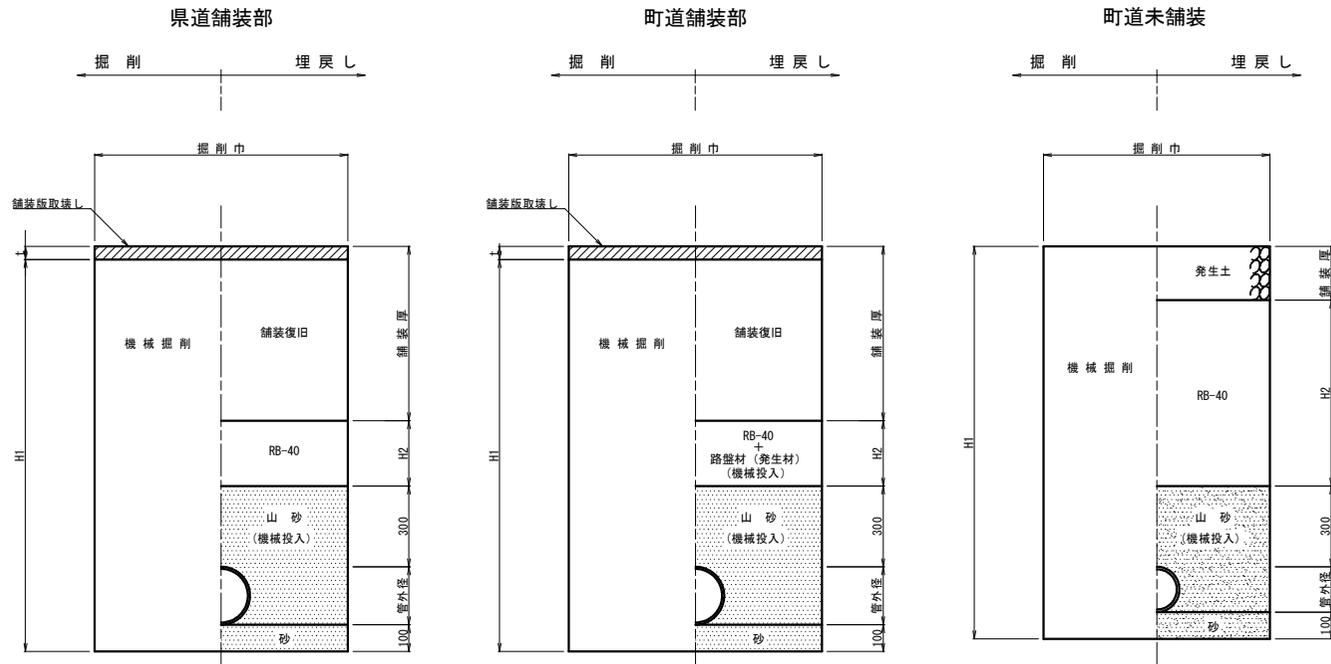
舗装種類凡例



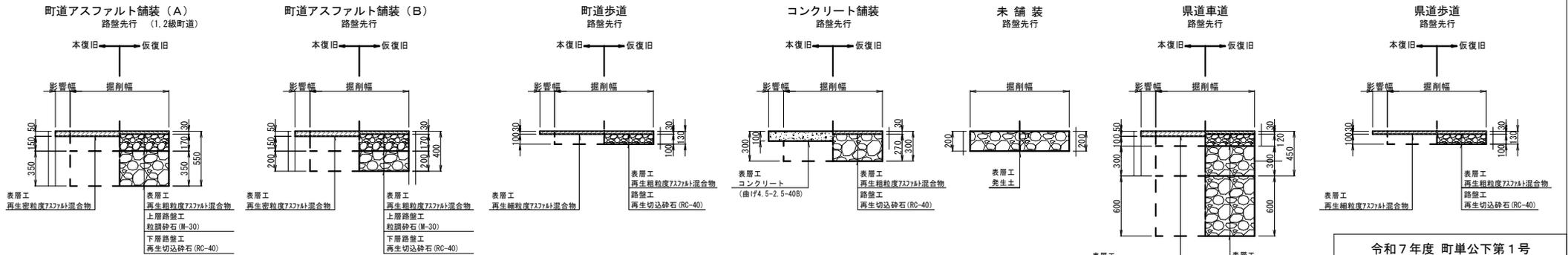
令和7年度 町単公下第1号  
人孔底部工改造工事

図面名	付帯工平面図			
令和 年 月 日	縮尺	1:200	図面番号	4/5
茨城県城里町	設計者			

土工図 縮尺 1:10



舗装構成図 縮尺 1:20



令和7年度 町単公下第1号 人孔底部工改造工事			
土工図・舗装構成図			
図面名	示	図番	図番番号 5/5
令和 年 月 日	示	図番	図番番号 5/5
茨城県城里町	設計者		